

# 出塞行

王昌齡

白草原頭京師望

黃河水流盡時無

秋天曠野行人絕

馬首東來知是誰

【作者】王昌齡（六九八〜七五五年）（諸説あり）盛唐の詩人。字は少伯（しょうはく）。京兆（けいちよう）陝西省（せんせいし）

（よう）西安）の人、一説には江寧（江蘇省南京）の人ともいう。七二七年（開元（かいげん）十五年）の進士（しんし）、校書郎（こうしよろう）から汜水（はんすい）河南省）の尉（い）となるも素行（すこう）おさまらず各地に転任する。七言絶句の名手、李白、孟浩然（もうこうねん）、高適（こうせき）と交友あり、安祿山の乱の時郷里に帰り刺史（しし）長官）閩丘（りよきゆうぎよう）に殺される。「王昌齡詩集」五巻がある。

【語釈】\*出塞行：樂府題 辺塞（へんさい）守備の兵士の辛苦を述べたもの 行は歌 \*白草原：新疆（しんきよう）省（じや）

く羌（じやくきよう）県地方の高原とするも所在は不明 \*白草…（白っぽい色の草、一つにやまかがみ）が一面に生えている原野 \*京師：都 長安 \*秋 天：秋の空 \*馬首東來：馬の首（たてがみ）を東すなわち都へ向けて行く

【通釈】白草の生い茂る高原にたたずみ、都の方を望めば、都は遙かに遠く見えず、ただ黄河の水は滔々（とうとう）として西よ

り東に流れ尽きることがない。秋の空も淋しく、塞外の広野を往来する人影も絶えたが、折りしもただ一人馬首を東へ向け都の方へ向う旅人がある。あれはいったい誰であろうか。（私も都へ帰りたいものである）